



乳がん・子宮頸がん検診

【問合せ・申込み】保健課

☎7733-6811

乳がんとは

乳がんは、乳頭から放射線状に広がる乳腺にできるがんです。

乳がんが見つかるきっかけは、自分で触って気が付いたり、検診で見られる場合が多いといわれています。

乳がんの症状

しこり

乳がんが進行すると腫瘍が大きくなり、触るとしこりが分かるようになります。しこりがあったとしてもすべてが乳がんというわけではなく、乳腺症などでもしこりができます。

乳房のひきつれやただれなど

乳房の皮膚に近い部分にがんができること、えくぼのようなひきつれができたり、湿疹やただれ、むくみなどの症状が出ます。

乳がんは、自分で発見できる可能性の高いがんです。月1回は自己触診を行い、40歳になったら2年に1回の検診を必ず受けましょう。気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

子宮頸がんとは

子宮頸がんは、子宮の入り口である子宮頸部にできるがんです。子宮

頸がんは早期に治療すれば経過や回復のよいがんとされています。

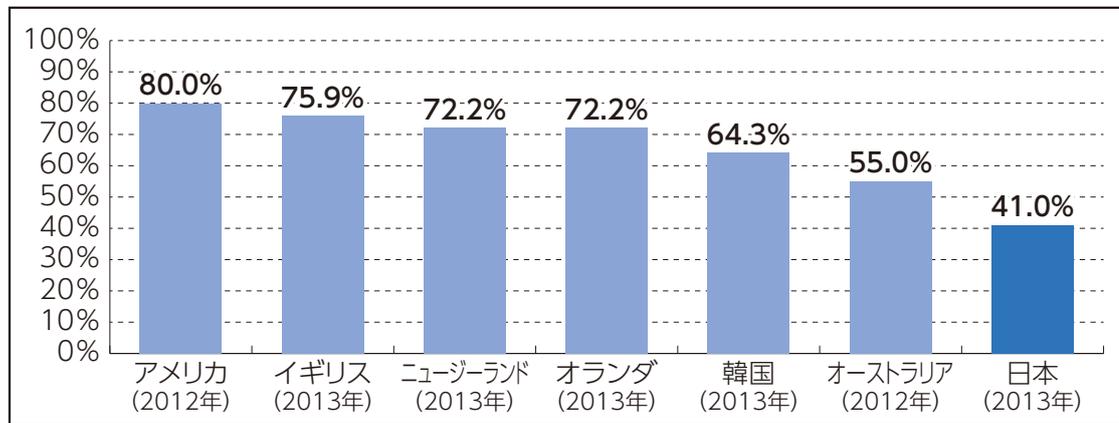
子宮頸がんの症状

初期の子宮頸がんは、自覚症状がほとんどありません。子宮頸がん検診はがんがあるかどうかだけでなく、がんになる前の細胞の異常も見つけることができます。若い人に増えているため、20歳になったら2年に1回の検診を必ず受けましょう。気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

市の子宮頸がん検診・乳がん検診検診結果

年度(平成)	子宮頸がん検診			乳がん検診		
	28	29	30	28	29	30
受診者数(人)	2,562	2,261	2,393	2,456	2,207	2,384
要精検者数(人)	50	44	51	154	169	165
精検受診率(%)	86.0	84.1	78.4	96.8	95.2	94.5
がん発見数(人)	1	0	1	8	5	4

乳がん検診受診率 (50～69歳)



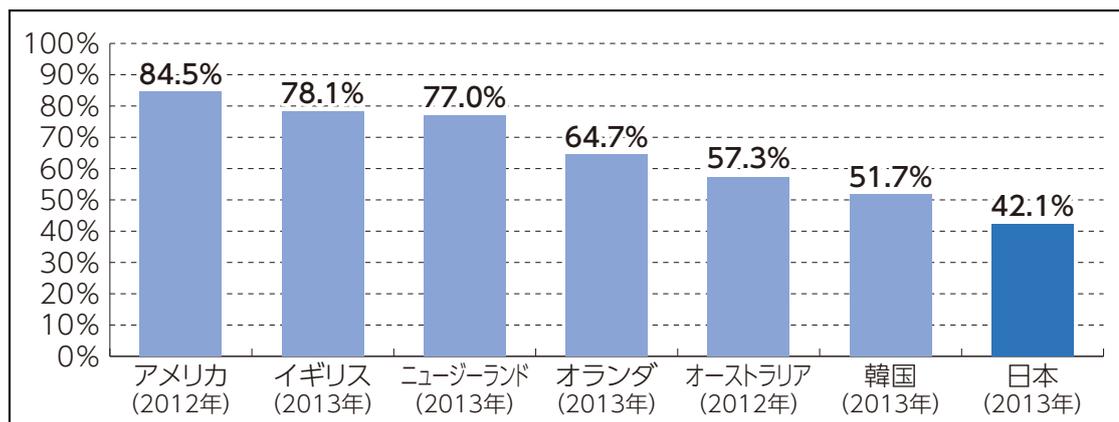
9月はがん征圧月間

いつもの暮らしに、

受診で早期発見!

がん検診を。

子宮頸がん検診受診率 (20～69歳)



日本の乳がん検診、子宮頸がん検診受診率は先進国の中では低い現状です。住民健診は11月までです。まだ受けていない人はお申し込みください。

引用：経済協力開発機構 (OECD) 図表でみる医療 2015年版